

# 令和3年度シラバス（国語・国語活用）

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制課程	単位数	必履修・選択
午前部	2	選択

準教科書	学習書・他教材
『新編 国語総合』（東京書籍） 『国語表現ナビ』（浜島書店）	『五訂版 常用漢字オールクリア』（尚文出版）

学習目標
基礎基本を徹底し、国語全般に対する応用力を身に付ける。

学習計画		
学習項目	学習内容	試験範囲 (学習期間)
1 「作文の基礎」①	1 助詞の使い方や言葉のつながり方、語順について、演習を通して学び、正しい文を書けるようにする。	前期中間考査
2 「ルボシキの青」	2 随想を読み、身近なものに目を向け、人生のありかたについて考えを深める。	
3 「漢字の学習」	3 基礎的な漢字について、小テスト等で定着度を確認する。	
4 「作文の基礎」②	4 接続表現や指示語を適切に使って文と文をつなぎ、自分の伝えたいことが正確に伝わる文章をかけるようにする。	前期期末考査
5 「ドライ・クリーニング」	5 小説の舞台設定、構成、文体の特徴を的確につかみ、心情と情景描写の密接な関係を理解できるようになる。	
6 「漢字の学習」	6 基礎的な漢字について、小テストで定着度を確認する。	
7 「表現をみがく」①	7 敬語表現・慣用表現・類義語などについて学び、自分の伝えたいことが効果的に伝わる文章をかけるようにする。	後期中間考査
8 「真の自立とは」	8 評論の文章について段落相互の関係をつかみ、論理の展開を明らかにする。	
9 「漢字の学習」	9 基礎的な漢字について、小テストで定着度を確認する。	
10 「表現をみがく」②	10 読みやすくわかりやすい文が書けるように、演習を通して文を短くしたり、要約したりするコツをつかませる。	後期期末考査
11 「ほおずきの花束」	11 小説の舞台設定、構成、文体の特徴を的確につかみ、登場人物の心の動きを味わう。	
12 「鍋洗いの日々」	12 随想を読み、筆者のものの考え方を参考に「働くということ」について自分の考えをまとめる。	

評価規準と評価方法				
評価は、次の5観点から行う。				

①関心・意欲・態度	②話す・聞く能力	③書く能力	④読む能力	⑤知識・理解
幅広い知識を進んで身に付けようとしている。	他者の考えを正しく理解し、自分の考えを適切な表現で伝えようとしているか。	自分の考えを適切に表現しようとしている。	様々な文章に触れ、内容を正確に読み取り、思考を深めようとしている。	文章の内容を正確に理解し、語彙等の知識を深めようとしている。

- ・定期考査および提出物、小テストを中心に総合的に評価する。
- ・意欲的に取り組む態度を重視する。

授業の進め方、課題・提出物など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代文では、教師による解説の後、要旨のまとめと表現活動（要旨を踏まえた自分の意見の口頭もしくは文章での発表）を行う。</li> <li>・国語表現では、演習を中心にし、実際に書く力を養う。</li> <li>・漢字の学習では、力の定着を図るため、小テストを授業中に行う。</li> </ul>

担当者からのメッセージ
国語が好きな人、得意な人、力をつけたい人を対象に授業を行います。